学校の教育目標　「心豊かで　たくましい生徒」

東　安　魂

東安中学校だより
R5．11．30
No．8

地域の魅力再発見

大垣市・安八郡安八町組合立東安中学校
校長　木下　隆一

「東安地区魅力発見ウォークラリー」この行事が発足して今年で４年目。生徒会と学校運営協議会との連携は年々密になっており、今年度も地域からたくさんのご協力をいただき、この行事を行うことができました。今年度のテーマは「防災」。これまで、地域の歴史遺産や産業については、チェックポイントを決め、全校で学習を進めてきましたが、今年はまた違った角度から地域を見つめ直し、学びを深めることになりました。

もともと、この地は９．１２長良川堤防決壊による洪水の被災地です。そのときの自然の恐ろしさ、そして人々のたくましい復興の思いは、ともすれば過去のものとなりがちです。被災の爪痕（実績浸水深の看板、水害訴訟の経過記念碑）や、避難場所、公園に設置してある炊き出し用のかまど、水屋等、至るところにある地域の防災に向けての対応を目の当たりにし、生徒はたくさんのことを考えました。「ずっとここで暮らしてきたけれど、（私自身は）大きな災害に遭ったことがないから、あまり危機感をもっていなかったです。でも、昔は大きな災害があったということを、常に心に留めておきたいと思いました。そして、いつ災害が起きてもいいように備えておきたいと思いました。」

また、仲間や地域の方々の心に触れ、たくさんの魅力を発見する機会ともなりました。一人ではできないことも、仲間の存在ができるようにしてくれる、そんな場面の発見は、とても心が温まるうれしいものです。さらに、たくさんの地域の方々による、安全の見守り、温かい挨拶、声かけに深い感謝の念をもつ生徒が多数いました。

地域と自分はつながっている･･･こう思える行事はなかなかありません。コロナ禍で発足したこの行事は、学校と地域が連携して、同じ目的を共有し、生徒を育てる貴重な機会となっています。学校運営協議会の衣斐会長は「地域の人が、中学生の丁寧な言葉遣いや挨拶を褒めていた。地域の人にものを尋ねるときもその態度が非常によかった。とても印象がよかった。」また「ある班はウォークラリー中に、ゴミ袋とトングを持って、クリーン活動をしていた。生徒会と学校運営協議会とが協業した『CTフェスティバル』の取組が生きている。こういう思いが根付きつつあることをうれしく思う。」と話されていました。岐阜県の教育が目指す「地域社会人の育成」。本校の取組はそれの「ど真ん中」を走っていると思っています。

11月13日（月）　横断歩道の日

岐阜県が行っている『横断歩道の日（シマシマの日）』の取組に合わせて、東安校区においても横断歩道での歩行者の安全意識を高め、ドライバーへの啓発を行うねらいで、「横断歩道の日」の取組を行いました。学校運営協議会が主催で生徒会が中心となり、手を上げて信号のない横断歩道を渡るよう、中学生と結小学校、墨俣小学校に呼びかけを行いました。歩行者自らが手を上げて横断歩道に立つことで、ドライバーに対して意思表示ができるようになってもらうことを願っています。

11月14日（火）　安八スクールサミット

本年度の安八スクールサミットでは、町内各校の人権教育の取組を交流し合いました。本校では、エンジェルリングの取組を通して仲間の良さを見つけたり、学級集団エクササイズを通して聞き方や話し方をトレーニングしたりしています。また、人権スタート集会では自分の特性を振り返るとともに、仲間から教えてもらった自分の特性について小集団で交流し、互いに理解し合う関係になるように努めています。

11月16日（木）　ビブリオトーク交流会

登龍中学校とのビブリオトーク交流会を行いました。一人一人が仲間にぜひ読んでもらいたい本を選び、事前に学級内で代表生徒を選考し、オンラインで学年間で紹介し合いました。

各学級の代表生徒は、自分のお勧めの本に興味をもってもらえるよう、自分の思いを伝えることができました。これをきっかけに、少しでも本を好きになってもらえることを願っています。

11月16日（木）　授業参観・懇談会

４月からの様々な学校生活や行事を通して学級が成長し、その中で学ぶ生徒たちの姿を見ていただきました。10月25日(水)に開催した東安中学校教育研究発表会に向けて生徒の学びの姿は高まってきましたが、その後、後期の班編成があり、新たな人間関係の中で小集団での学び合いの姿を見ていただくことができました。

学級・学年懇談会では、学校生活や行事での姿や、来年度に向けて頑張っていくとよいことなどについて話をさせていただきました。ご多用のところを参加いただき、ありがとうございました。

11月18日（土）、19日（日）　安八ふれあい祭り2023

４年ぶりに開催された安八ふれあい祭りに、本校生徒が参加させていただきました。

生徒会生徒を中心に参加した「赤い羽根共同募金」の募金活動では、多くの方から優しい気持ちをいただきました。お礼の言葉とともに風船などを渡す活動を通して、身近な社会福祉を体験することができました。

特別支援学級の「ひびき屋」では、自分たちで制作したかごやペン立てなど１５品を販売し、人々と触れ合うことができました。

吹奏楽部の演奏では、ステージで３０分の演奏をし、会場の皆様から大きな拍手をいただくことができました。

【１２月の行事予定】

【令和６年１月の行事予定】

※　行事予定は削除してあります。